



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月5日
上場取引所 東

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL http://www.nip.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 岩佐 恭知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 三上 仙智 (TEL) 052-218-3161

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	22,078	5.3	348	10.8	182	4.0	80	△76.8
2018年3月期第2四半期	20,977	14.9	314	569.7	175	-	348	-

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △534百万円(-%) 2018年3月期第2四半期 715百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	9.03	-
2018年3月期第2四半期	39.08	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	30,817	10,898	34.0
2018年3月期	29,851	11,462	36.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 10,470百万円 2018年3月期 10,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	0.00	-	4.00	4.00
2019年3月期	-	0.00	-	-	-
2019年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	2.8	700	40.7	450	△9.3	300	△49.9	33.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期2Q	9,127,338株	2018年3月期	9,127,338株
2019年3月期2Q	158,593株	2018年3月期	184,643株
2019年3月期2Q	8,954,961株	2018年3月期2Q	8,905,281株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より、百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、全般的に緩やかながらも回復基調が続いております。一方の世界経済は、超大国の通商政策の影響などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは前連結会計年度に策定した中期経営計画に基づき、「事業のリバランス」による高収益体質への転換を進めつつ、「強みとして伸ばしていく領域」への活動に集中し、実直な受注活動と改善活動に加え、次期中期経営計画に向けた新たな種まき活動を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,078百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は348百万円（前年同期比10.8%増）、経常利益は182百万円（前年同期比4.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80百万円（前年同期比76.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、パワートレイン系機構部品、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立品を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、バンコク、ベトナム、インドネシアなどの海外主力工場の受注が好調に推移しましたが、来春の量産拡大に向けた国内稲沢工場の先行投資並びに、来春の量産稼働に向けたメキシコ工場の先行投資の影響を継続して受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は8,280百万円（前年同期比13.3%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は10百万円（前年同期比93.0%減）、配賦後のセグメント損失は19百万円（前年同期は81百万円のセグメント利益）となりました。

・エレクトロニクス

電子部品及びクリーンエネルギー関連のメーカーに対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、スマートフォンに関連する需要が調整局面に入り受注が減少しましたが、ロボット・工作機械向け配線板材料の受注と車載パワーデバイス関連部材の受注が堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は7,254百万円（前年同期比0.5%減）、全社費用配賦前のセグメント利益は351百万円（前年同期比2.3%増）、配賦後のセグメント利益は138百万円（前年同期比68.9%増）となりました。

・精密機器

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等の関連メーカーに対して、樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、プリンター関連部品及び医療機器関連のディスプレイ部品の受注がともに増加したことにより好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は3,990百万円（前年同期比13.4%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は176百万円（前年同期比47.1%増）、配賦後のセグメント利益は144百万円（前年同期比55.9%増）となりました。

・住宅設備

住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、樹脂成形品、ブラインド・介護用ベッドのコントロールユニット、高機能材料並びに機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、住宅用給水ユニット関連部品の受注が減少し、その影響を受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は1,655百万円（前年同期比11.4%減）、全社費用配賦前のセグメント利益は126百万円（前年同期比7.1%増）、配賦後のセグメント利益は47百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

当該事業の業績は、アミューズメント市場向けICカード関連の受注減少の影響を受けましたが、国内関係会社の収益改善により堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1,068百万円（前年同期比7.6%減）、全社費用配賦前のセグメント利益は135百万円（前年同期比12.3%増）、配賦後のセグメント利益は74百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し15,548百万円となりました。

これは受取手形及び売掛金が264百万円減少したものの、電子記録債権が270百万円、未収入金が76百万円増加したことなどが主な要因となっております。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて888百万円増加し15,269百万円となりました。

これは機械装置及び運搬具（純額）が405百万円、建設仮勘定が655百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて965百万円増加し30,817百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,034百万円増加し13,424百万円となりました。

これは短期借入金が1,105百万円増加したことなどが主な要因となっております。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて494百万円増加し6,494百万円となりました。

これはリース債務が512百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,529百万円増加し19,918百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて563百万円減少し10,898百万円となりました。

これは為替換算調整勘定が434百万円減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益80百万円を計上したことなどが主な要因となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて54百万円の増加となり4,714百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、591百万円の資金の増加（前年同期は201百万円の資金の増加）となりました。これは仕入債務の減少により284百万円、法人税等の支払額により135百万円減少したものの、税金等調整前四半期純利益が114百万円となり、減価償却費により784百万円増加したことなどが主な要因となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,294百万円の資金の減少（前年同期は804百万円の資金の減少）となりました。これは定期預金の預入による支出により200百万円、有形固定資産の取得による支出により1,122百万円減少したことなどが主な要因となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、856百万円の資金の増加（前年同期は441百万円の資金の増加）となりました。これは長期借入金の返済による支出により400百万円減少したものの、短期借入金の純増減額により993百万円増加したことなどが主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績の見通しにつきましては、2018年5月15日に公表しました連結業績予想の売上高45,000百万円、営業利益700百万円、経常利益450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円を見込んでおります。

今後の国内外経済は、超大国による通商政策等並びに、国内大手企業による不正検査問題等により、先行き不透明な状況が続くと思われまます。

これら等の影響により、当社グループの連結業績予想の見通しに修正が必要と判断される場合は、改めて公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,666	4,721
受取手形及び売掛金	7,311	7,047
電子記録債権	433	703
商品及び製品	1,266	1,183
仕掛品	480	486
原材料及び貯蔵品	739	731
未収入金	425	501
その他	153	178
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	15,471	15,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,387	9,323
減価償却累計額	△3,984	△4,084
建物及び構築物（純額）	5,402	5,238
機械装置及び運搬具	9,438	9,992
減価償却累計額	△6,291	△6,439
機械装置及び運搬具（純額）	3,147	3,553
工具、器具及び備品	911	1,059
減価償却累計額	△580	△711
工具、器具及び備品（純額）	331	347
土地	1,745	1,698
建設仮勘定	498	1,154
有形固定資産合計	11,125	11,992
無形固定資産		
その他	99	91
無形固定資産合計	99	91
投資その他の資産		
投資有価証券	2,015	1,866
退職給付に係る資産	13	15
繰延税金資産	43	27
その他	1,110	1,304
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	3,155	3,185
固定資産合計	14,380	15,269
資産合計	29,851	30,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,067	7,710
短期借入金	1,550	2,655
1年内返済予定の長期借入金	789	825
リース債務	234	334
未払法人税等	148	101
賞与引当金	311	325
事業整理損失引当金	—	101
その他	1,287	1,368
流動負債合計	12,389	13,424
固定負債		
長期借入金	3,610	3,541
リース債務	247	759
繰延税金負債	636	626
再評価に係る繰延税金負債	2	2
環境対策引当金	11	11
退職給付に係る負債	1,276	1,319
資産除去債務	125	130
その他	89	101
固定負債合計	6,000	6,494
負債合計	18,389	19,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137	3,137
資本剰余金	1,363	1,363
利益剰余金	5,235	5,280
自己株式	△53	△46
株主資本合計	9,683	9,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	233
土地再評価差額金	5	5
為替換算調整勘定	929	495
その他の包括利益累計額合計	1,251	734
非支配株主持分	526	428
純資産合計	11,462	10,898
負債純資産合計	29,851	30,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	20,977	22,078
売上原価	18,351	19,347
売上総利益	2,625	2,731
販売費及び一般管理費	2,310	2,382
営業利益	314	348
営業外収益		
受取利息	4	11
受取配当金	8	7
スクラップ売却益	15	17
その他	23	24
営業外収益合計	52	60
営業外費用		
支払利息	53	83
電子記録債権売却損	6	6
為替差損	116	121
その他	15	16
営業外費用合計	191	227
経常利益	175	182
特別利益		
固定資産売却益	58	7
投資有価証券売却益	150	29
特別利益合計	209	36
特別損失		
固定資産処分損	0	3
投資有価証券売却損	0	—
事業整理損失引当金繰入額	—	101
特別損失合計	1	104
税金等調整前四半期純利益	383	114
法人税、住民税及び事業税	97	91
法人税等調整額	12	28
法人税等合計	109	120
四半期純利益又は四半期純損失(△)	273	△5
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△74	△86
親会社株主に帰属する四半期純利益	348	80

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	273	△5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	△82
為替換算調整勘定	385	△445
その他の包括利益合計	441	△528
四半期包括利益	715	△534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	559	△436
非支配株主に係る四半期包括利益	155	△98

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383	114
減価償却費	648	784
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42	53
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	101
受取利息及び受取配当金	△13	△18
支払利息	53	83
支払手数料	1	1
為替差損益(△は益)	169	145
固定資産処分損益(△は益)	△58	△4
売上債権の増減額(△は増加)	△187	△99
たな卸資産の増減額(△は増加)	△217	42
仕入債務の増減額(△は減少)	54	△284
投資有価証券売却損益(△は益)	△150	△29
営業保証金の増減額(△は増加)	△353	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△81	△117
その他の流動負債の増減額(△は減少)	62	16
その他	△4	3
小計	350	792
利息及び配当金の受取額	13	18
利息の支払額	△52	△83
法人税等の支払額	△109	△135
営業活動によるキャッシュ・フロー	201	591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△200
定期預金の払戻による収入	100	—
有形固定資産の取得による支出	△1,119	△1,122
有形固定資産の売却による収入	86	9
無形固定資産の取得による支出	△13	△8
投資有価証券の取得による支出	△3	△1
投資有価証券の売却による収入	159	37
貸付金の回収による収入	4	3
その他の支出	△38	△26
その他の収入	19	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△804	△1,294

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	91	993
長期借入れによる収入	948	352
長期借入金の返済による支出	△449	△400
セール・アンド・リースバックによる収入	—	86
リース債務の返済による支出	△139	△130
割賦債務の返済による支出	△16	△17
自己株式の売却による収入	10	12
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△36
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	441	856
現金及び現金同等物に係る換算差額	△86	△99
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△247	54
現金及び現金同等物の期首残高	4,381	4,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,133	4,714

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,271	7,290	3,514	1,867	19,944	1,032	20,977	—	20,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	—	4	—	43	123	167	△167	—
計	7,311	7,290	3,519	1,867	19,988	1,155	21,144	△167	20,977
セグメント利益	81	82	92	75	331	75	407	△92	314

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は452百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益	157	343	119	118	121	859
全社費用	75	261	27	42	45	452
セグメント利益	81	82	92	75	75	407

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,270	7,254	3,939	1,655	21,118	959	22,078	—	22,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	51	—	62	108	170	△170	—
計	8,280	7,254	3,990	1,655	21,180	1,068	22,249	△170	22,078
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△19	138	144	47	310	74	385	△36	348

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益又はセグメント損失(△)を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は415百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益	10	351	176	126	135	800
全社費用	30	213	31	78	61	415
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△19	138	144	47	74	385

(重要な後発事象)

該当事項はありません。